

## 2016年度以降のカリキュラム適用者

### 『リベラルアーツ学群専攻プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この冊子は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

この冊子は、各専攻プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

#### ●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各専攻プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望する専攻プログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・とくに、専攻プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

#### ●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各専攻プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各専攻プログラムを修了するためには32～36単位の科目を修得することが必要ですが、どの専攻プログラムも、それをほかに上回る数の科目を準備しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたモデル・カリキュラムの例を示したものです。
- ・各専攻プログラムの「履修モデル」ページには、その専攻プログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、その専攻プログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、33の専攻プログラム、およびマイナープログラムがありますが、この冊子には、各専攻プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心ある専攻プログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、このように履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

リベラルアーツ学群教員一同

## 倫理学専攻プログラム

### 履修のしかた：

- ・履修の仕方：必修科目（倫理学概論）以外は、倫理学に関連する選択必修科目や選択科目からなる積み上げ型のプログラムです。
- ・1年次に履修しておいた方がいい科目：基礎教育科目の学問基礎「人間理解（現代社会の問題と哲学思想）」や「人間理解(自由と自律への旅立ち)」など。特に前者は倫理学への入門として強く推奨します。
- ・2年次に履修しておいた方がいい科目：倫理学概論、倫理学研究特論 A・B、倫理学説史、応用倫理学、環境倫理学、社会思想史。

### 他の専攻プログラムとの関係：

- ・特に関連性のつよい専攻プログラム：哲学、宗教学、キリスト教学、国際協力、日本地域研究、環境学、社会学など。
- ・マイナーとして推奨する専攻プログラム：英語学・英文学、哲学、宗教学、キリスト教学、コミュニケーション学、メディア（ジャーナリズム）、国際協力、日本地域研究、環境学、社会学、文化人類学、歴史学、公共政策、心理学、生物学など。
- ・他の専攻プログラムで履修を推奨する科目：国際人権法、平和論、国際協力論、環境経済論、日本思想史、アメリカ思想史、情報と倫理、環境と文明、生物学概論、地学概論など。

### 留学・教職その他：

- ・留学について：種々の条件等をよく考えて、各自で責任ある判断を下してください。
- ・教職について：教職を目指す方には、法や倫理（道徳）、人権に関する感覚や認識がますます必要になっていきますので、お勧めします。
- ・毎年開催しているイベント：倫理学専攻卒論・ゼミ論発表会を年度末の1月に開催する予定です。

### 学生へのメッセージ：

- ・当該専攻プログラムの魅力のアピール（とくに、その学問の魅力・学びの楽しさ、どのような力が身につくか）：

人間が一生をかけてめざすべき人生の価値は、単なる偏差値や学歴、資格、専門知識、地位、職業などによって決まるものではありません。真に生きるに値する善き人生とはなにか。それを実現するためにはどのような人間、どのような社会でなければならないのか。こうした問いに答えるために、倫理や道徳、正義や法・権利、善・悪に関する諸学説を学び、私たちの人生をより充実させるべく反省・分析し、問題を実践的に解決しようとする実践が倫理学なのです。

本学の倫理学は、こうした視点から、現実の社会にある倫理的に重要な諸問題を取り上げて、私たちの政治や経済、社会や歴史、文化の具体的な世界に深く分け入り、私たちが今ここで真に善く生きることの意義を明らかにしようとしています。学生時代にこうしたスタイルで倫理学を学んでおくことは、かならずや皆さん1人ひとりの人生と社会を豊かにしてくれるはずで、できるだけメジャー/マイナーのいずれかで倫理学を専攻して、きたるべき市民社会の積極的創造的なリーダーや担い手となり、本学の建学の理念である「学而事人」（身につけた学問は、自己利益を計るためではなく、他人や社会のために役立つ）を実践していただきたいと強く願っています。こうした本学の建学の理念を達成するために、倫理学専攻のスタッフは、皆さん1人ひとりの興味関心やテーマの探求を支援しながら、21世紀の社会にとって真に有為な人物とすべく指導していきます。

- ・来て欲しい学生像、履修学生に望まれる学修姿勢：

これからの社会と時代をよく生き抜くためのテーマ（問題意識）を求めており、同時にしっかりと学んだ学ぶ姿勢のある学生を歓迎します。

- ・専攻プログラムの運営方針（教育方針）：

倫理学の基礎知識をきちんと学びながら、社会の具体的な諸問題に取り組む倫理学の新しい潮流（応用倫理学や社会倫理学など）を重視していきます。

- ・専攻プログラムの特徴に関する補足的説明：

リベラルアーツ学群の中で学ぶ醍醐味をしっかりと味わえるように、倫理学専攻プログラムは他の専攻の学びへと開かれリンクするよう工夫されていますので、大いに活用してください。

## 倫理学専攻プログラム

### 1 倫理学基本(メジャー)・履修モデル

この履修モデルはリベラルアーツ学群の中で倫理学をメジャーとして専攻する場合の基本を示したものです。その中で特に大切なのは、「導入・基礎」の倫理学概論、「理論」の倫理学研究特論、倫理学説史、環境倫理学、「応用」の倫理学の諸問題、応用倫理学、環境・生命・人権の哲学です。

以上の基幹科目の他は選択科目の専攻演習Ⅰ、専攻演習Ⅱ、卒業論文ですから、倫理学を専攻するには自由度の高い学修計画が可能になります。現代社会の種々の問題にみられる道徳や倫理、正義や法・人権、生命や環境を中心とする諸価値の真の役割を学習していきます。私たちはこの倫理学専攻プログラムから、現代に生きるわれわれや未来の人々にとって、あるいは自分自身の人生にとって本当に大切なものを自己の立脚する実践原理として見極め、学び取ることができるはずです。

なお、倫理学をメジャーとして専攻する場合、専攻演習Ⅰ、専攻演習Ⅱ、卒業論文を是非とも選択するようにして下さい。演習における教師と学生の信頼関係は、皆さんに深く大きな知的発見と人間としての成長・成熟をもたらすはずだからです。やがて社会は皆さんを真に有為な人物として高く評価することになるでしょう。

### 倫理学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入・基礎	○	REL1000L	宗教学概論	4	◎	ETH2000L	倫理学概論	4	○	PHL3000L	哲学概論	4				
理論					○	ETH2360L	環境倫理学	2		AMS3130L	アメリカ思想史	4				
						LIT2030L	中国思想史	4	○	PHL3371L	哲学研究特論A	2				
						ETH2020L	日本思想史	4		PHL3372L	哲学研究特論B	2				
					○	ETH2340L	倫理学研究特論A	2		REL3150L	宗教学研究特論	2				
					○	ETH2330L	倫理学研究特論B	2	○	ETH3320L	社会思想史	4				
					○	ETH2341L	倫理学研究特論C	2		POL3110L	国際関係思想	4				
					○	ETH2010L	倫理学説史	2		INT3310L	平和論	4				
応用		IST1181L	情報と倫理	2	○	ETH2160L	応用倫理学	2	○	ETH3370L	環境・生命・人権の哲学	2				
		ENV1001L	環境と文明	4		PHL2371L	哲学の諸問題A	4		PHL3330L	論理学	4				
						PHL2372L	哲学の諸問題B	4		LAW3230L	国際人権法	4				
						INT2340L	人間の安全保障	4		REL3130L	宗教学の諸問題	2				
									○	ETH3150L	倫理学の諸問題A	4				
								○	ETH3130L	倫理学の諸問題B	4					

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕

## 倫理学専攻プログラム

### 2 倫理学基本(マイナー)・履修モデル

この履修モデルはリベラルアーツ学群の中で倫理学をマイナーとして専攻する場合の学修の基本を示したものです。その中で特に大切なのは、メジャーと同じく、「導入・基礎」の倫理学概論、「理論」の倫理学研究特論、倫理学説史、環境倫理学、「応用」の倫理学の諸問題、応用倫理学、環境・生命・人権の哲学です。

以上の基幹科目の他は選択科目の専攻演習Ⅰ、専攻演習Ⅱ、卒業論文ですから、倫理学をマイナーとして専攻する場合にも自由度の高い学修計画が可能になります。この履修モデルでは、現代社会における道徳や倫理、正義や法・人権、生命や環境等を中心とする諸価値の真の役割を理解していきます。私たちはこの倫理学専攻プログラムから、現代に生きるわれわれや未来の人々にとって、あるいは自分自身の人生にとって本当に大切なものを自己の立脚する実践原理として見極め、学び取ることができるはずです。

なお、倫理学をマイナーとして専攻する場合、できれば専攻演習Ⅰと専攻演習Ⅱは選択するようにして下さい。演習における教師と学生の信頼関係は、皆さんに深く大きな知的発見と人間としての成長・成熟をもたらすはずだからです。やがて社会は皆さんを真に有為な人物として高く評価することになるでしょう。

### 倫理学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入・基礎	○	REL1000L	宗教学概論	4	◎	ETH2000L	倫理学概論	4	○	PHL3000L	哲学概論	4				
理論					○	ETH2360L	環境倫理学	2		AMS3130L	アメリカ思想史	4				
						LIT2030L	中国思想史	4		PHL3371L	哲学研究特論A	2				
						ETH2020L	日本思想史	4		PHL3372L	哲学研究特論B	2				
					○	ETH2340L	倫理学研究特論A	2		REL3150L	宗教学研究特論	2				
					○	ETH2330L	倫理学研究特論B	2	○	ETH3320L	社会思想史	4				
					○	ETH2341L	倫理学研究特論C	2		POL3110L	国際関係思想	4				
応用					○	ETH2010L	倫理学説史	2		INT3310L	平和論	4				
		IST1181L	情報と倫理	2	○	ETH2160L	応用倫理学	2	○	ETH3370L	環境・生命・人権の哲学	2				
		ENV1001L	環境と文明	4		PHL2371L	哲学の諸問題A	4		PHL3330L	論理学	4				
						PHL2372L	哲学の諸問題B	4		LAW3230L	国際人権法	4				
						INT2340L	人間の安全保障	4		REL3130L	宗教学の諸問題	2				
									○	ETH3150L	倫理学の諸問題A	4				
								○	ETH3130L	倫理学の諸問題B	4					

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕

## 倫理学専攻プログラム

### 3 人権学(メジャー)・履修モデル

この履修モデルはリベラルアーツ学群の中で倫理学をメジャーとして専攻し、かつ人権学を学修する場合の基本を示したものです。その中で特に大切なのは、中島が担当する「導入・基礎」の倫理学概論、「理論」の倫理学研究特論A、環境倫理学、社会思想史、「応用」の倫理学の諸問題A、環境・生命・人権の哲学です。(人権学を学修するには、これらの科目に先立って、基礎教育科目の学問基礎「人間理解(現代社会の問題と哲学思想)」や「人間理解(自由と自律への旅立ち)」等を履修しておけばさらによいでしょう。)以上の基幹科目は、21世紀の課題群の根底にある差別や偏見、抑圧や暴力、科学・技術、開発や環境破壊等の問題を人権学の見地から掘り下げて考えていく際に避けて通ることができません。

人権学を学ぶ倫理学専攻のこの履修モデルでは、特に「理論」からは社会思想史、環境倫理学、平和論、「応用」からは国際人権法、人間の安全保障、環境・生命・人権の哲学を選択肢として重視しており、現代社会の問題に取り組む人権学の真の役割を理解していきます。この履修モデルから現代の社会や私たちの人生にとって本当になくしてはならない人権(正義や公正、自由・平等・博愛を含む)思想を実践原理としてしっかりと学ぶことができます。

なお、人権学の学習を中心とするこの履修モデルにおいても、倫理学専攻プログラムの専攻演習Ⅰ、専攻演習Ⅱ、卒業論文を選択するようにして下さい。演習における教師と学生の信頼関係は、皆さんに深く大きな知的発見と人間としての成長・成熟をもたらすはずだからです。やがて社会は皆さんを真に有為な人物として高く評価することになるでしょう。

### 倫理学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入・基礎		REL1000L	宗教学概論	4	◎	ETH2000L	倫理学概論	4		PHL3000L	哲学概論	4				
理論					○	ETH2360L	環境倫理学	2		AMS3130L	アメリカ思想史	4				
						LIT2030L	中国思想史	4		PHL3371L	哲学研究特論A	2				
						ETH2020L	日本思想史	4		PHL3372L	哲学研究特論B	2				
					○	ETH2340L	倫理学研究特論A	2		REL3150L	宗教学研究特論	2				
						ETH2330L	倫理学研究特論B	2	○	ETH3320L	社会思想史	4				
						ETH2341L	倫理学研究特論C	2		POL3110L	国際関係思想	4				
						ETH2010L	倫理学説史	2	○	INT3310L	平和論	4				
応用		IST1181L	情報と倫理	2		ETH2160L	応用倫理学	2	○	ETH3370L	環境・生命・人権の哲学	2				
		ENV1001L	環境と文明	4		PHL2371L	哲学の諸問題A	4		PHL3330L	論理学	4				
						PHL2372L	哲学の諸問題B	4	○	LAW3230L	国際人権法	4				
					○	INT2340L	人間の安全保障	4		REL3130L	宗教学の諸問題	2				
									○	ETH3150L	倫理学の諸問題A	4				
									ETH3130L	倫理学の諸問題B	4					

### その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕
- ・難民・移民の人権〔4〕
- ・メディアと人権〔4〕
- ・日本国憲法〔2〕

## 倫理学専攻プログラム

### 4 倫理思想と思想史の研究(メジャー) 履修モデル

この履修モデルはリベラルアーツ学群の中で倫理学をメジャーとして専攻し、かつ倫理思想と思想史を中心にして学修する場合の基本を示したものです。その中で特に大切なのは、「導入・基礎」の倫理学概論、哲学概論、宗教学概論、「理論」の倫理学研究特論、倫理学説史、環境倫理学、社会思想史、日本思想史、アメリカ思想史、「応用」の倫理学の諸問題です。

倫理学専攻プログラムの中で、倫理思想と思想史を中心にして学修する場合、特に重視されるのは倫理学概論、哲学概論、宗教学概論、日本思想史、社会思想史などです。また、「理論」、「応用」などの幅広い選択肢も用意しており、思想史を中心にして、人類史や文明史における道徳(倫理)や哲学・宗教、思想の真の役割を理解していきます。こうした学修を通して、私たちは実践原理としての倫理(道徳)や正義、人権、法などの真の意義を深く学ぶことになります。

なお、倫理学をメジャーとして専攻する場合、専攻演習Ⅰ、専攻演習Ⅱ、卒業論文を選択するようにして下さい。演習における教師と学生の信頼関係は、皆さんに深く大きな知的発見と人間としての成長・成熟をもたらすはずだからです。やがて社会は皆さんを真に有為な人物として高く評価することになるでしょう。

### 倫理学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入・基礎	○	REL1000L	宗教学概論	4	◎	ETH2000L	倫理学概論	4	○	PHL3000L	哲学概論	4				
理論					○	ETH2360L	環境倫理学	2	○	AMS3130L	アメリカ思想史	4				
					○	LIT2030L	中国思想史	4		PHL3371L	哲学研究特論A	2				
					○	ETH2020L	日本思想史	4		PHL3372L	哲学研究特論B	2				
					○	ETH2340L	倫理学研究特論A	2		REL3150L	宗教学研究特論	2				
					○	ETH2330L	倫理学研究特論B	2	○	ETH3320L	社会思想史	4				
						ETH2341L	倫理学研究特論C	2		POL3110L	国際関係思想	4				
応用					○	ETH2010L	倫理学説史	2		INT3310L	平和論	4				
		IST1181L	情報と倫理	2		ETH2160L	応用倫理学	2		ETH3370L	環境・生命・人権の哲学	2				
		ENV1001L	環境と文明	4		PHL2371L	哲学の諸問題A	4		PHL3330L	論理学	4				
						PHL2372L	哲学の諸問題B	4		LAW3230L	国際人権法	4				
						INT2340L	人間の安全保障	4		REL3130L	宗教学の諸問題	2				
									○	ETH3150L	倫理学の諸問題A	4				
									ETH3130L	倫理学の諸問題B	4					

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕

## 倫理学専攻プログラム

### 5 哲学・思想の研究(メジャー) 履修モデル

この履修モデルはリベラルアーツ学群の中で倫理学をメジャーとして専攻し、かつ哲学・思想の他の専攻(キリスト教学、宗教学、哲学)のいずれかをマイナー選択して学修する場合の基本を示したものです。

この履修モデルの場合には、現代に生きるわれわれや未来の人々にとって、真になくてはならない哲学や思想の生きた姿を学び取ることができます。

なお、倫理学専攻プログラムをメジャーとして選択した上で、哲学・思想を中心に学修する場合、哲学・思想区分中の4専攻のいずれかの専攻演習Ⅰ、専攻演習Ⅱ、卒業論文を選択するようにして下さい。演習における教師と学生の信頼関係は、皆さんに深くて大きな知的発見と人間としての成長・成熟をもたらすはずだからです。やがて社会は皆さんを真に有為な人物として高く評価することになるでしょう。

### 倫理学専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
導入・基礎	○	REL1000L	宗教学概論	4	◎	ETH2000L	倫理学概論	4	○	PHL3000L	哲学概論	4				
理論					○	ETH2360L	環境倫理学	2		AMS3130L	アメリカ思想史	4				
						LIT2030L	中国思想史	4	○	PHL3371L	哲学研究特論A	2				
						ETH2020L	日本思想史	4		PHL3372L	哲学研究特論B	2				
					○	ETH2340L	倫理学研究特論A	2	○	REL3150L	宗教学研究特論	2				
					○	ETH2330L	倫理学研究特論B	2	○	ETH3320L	社会思想史	4				
					○	ETH2341L	倫理学研究特論C	2		POL3110L	国際関係思想	4				
応用					○	ETH2010L	倫理学説史	2		INT3310L	平和論	4				
		IST1181L	情報と倫理	2		ETH2160L	応用倫理学	2		ETH3370L	環境・生命・人権の哲学	2				
		ENV1001L	環境と文明	4	○	PHL2371L	哲学の諸問題A	4		PHL3330L	論理学	4				
						PHL2372L	哲学の諸問題B	4		LAW3230L	国際人権法	4				
						INT2340L	人間の安全保障	4	○	REL3130L	宗教学の諸問題	2				
								○	ETH3150L	倫理学の諸問題A	4					
									ETH3130L	倫理学の諸問題B	4					

その他の推奨科目 ※〔〕内は単位数

- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕
- ・卒業論文〔4〕